

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 エスビー食品株式会社

コード番号 2805 URL <http://www.sbfoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 博行

問合せ先責任者 (役職名) 管理サポートグループ財経管理室 (氏名) 山崎 崇弘

TEL 03-3668-0551

経理ユニットユニットマネージャー

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	69,192	3.7	3,057	69.2	2,932	40.0	1,587	4.4
28年3月期第2四半期	66,735	11.3	1,807	△18.4	2,094	△5.8	1,519	15.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,451百万円 (△51.7%) 28年3月期第2四半期 3,005百万円 (64.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	241.32	—
28年3月期第2四半期	224.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	108,717	35,923	33.0
28年3月期	104,799	34,703	33.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 35,923百万円 28年3月期 34,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
29年3月期	—	35.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,500	1.8	5,000	30.9	4,700	10.7	2,500	49.7	380.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	6,977,117 株	28年3月期	6,977,117 株
29年3月期2Q	398,683 株	28年3月期	398,467 株
29年3月期2Q	6,578,561 株	28年3月期2Q	6,773,022 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景として、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性の高まりや円高の進行による企業収益への影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、お客様の節約志向による個人消費の伸び悩みや市場構造の変化による競争激化から、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。おいしさの追求はもちろんのこと、高い品質と新たな価値を創出し、暮らしに役立つ製品を生み出すため、お客様視点での研究開発や製品開発を行うとともに、きめ細かな営業活動やスパイスとハーブの魅力をお伝えするための情報発信に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業において、即席カレーを中心として主力製品が堅調に推移したこと、また、調理済食品では、前期5月の新工場稼働により販売製品が増加したこと、前年同期比24億57百万円増の691億92百万円（前年同期比3.7%増）となりました。利益面につきましては、食料品事業において、売上高の増加に加え、引き続き原価低減や経費削減に努めたこと、また、調理済食品では、前年同期に発生した工場新設に伴う初期費用が無くなりましたことなどから、営業利益は前年同期比12億50百万円増の30億57百万円（同69.2%増）、経常利益は前年同期比8億37百万円増の29億32百万円（同40.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比67百万円増の15億87百万円（同4.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、10ページ「4. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比7億20百万円増の595億99百万円（同1.2%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比5億43百万円増の32億81百万円（同19.8%増）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比17億37百万円増の95億93百万円（同22.1%増）となりました。セグメント損失（営業損失）は2億45百万円（前年同期はセグメント損失9億53百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して39億17百万円増加し、1,087億17百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加29億67百万円、売上債権の増加6億85百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して26億97百万円増加し、727億93百万円となりました。これは主に、借入金の増加25億51百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して12億20百万円増加し、359億23百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加13億58百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は33.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、今後の市場環境や原材料価格の状況、調理済食品の業績動向など、不透明な要因がありますものの、当第2四半期連結累計期間において、主力製品が堅調に推移し売上高が増加したこと、また利益面においても順調に推移し、それぞれ計画を上回ったことを勘案し、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期通期の連結業績予想を修正しております。

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	134,500	4,600	4,300	2,350	357.22
今回修正予想 (B)	135,500	5,000	4,700	2,500	380.02
増減額 (B - A)	1,000	400	400	150	—
増減率 (%)	0.7	8.7	9.3	6.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	133,147	3,820	4,244	1,670	249.35

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,746	20,713
受取手形及び売掛金	23,425	24,110
商品及び製品	5,541	5,517
仕掛品	1,995	2,168
原材料及び貯蔵品	6,709	6,620
その他	7,105	6,662
貸倒引当金	△2,708	△2,759
流動資産合計	59,815	63,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,455	11,879
機械装置及び運搬具(純額)	6,688	6,741
土地	8,563	8,553
その他(純額)	2,937	2,982
有形固定資産合計	29,644	30,157
無形固定資産	559	578
投資その他の資産		
投資有価証券	6,104	6,045
その他	8,997	9,223
貸倒引当金	△321	△321
投資その他の資産合計	14,780	14,947
固定資産合計	44,983	45,682
資産合計	104,799	108,717

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,615	10,480
短期借入金	22,747	26,685
未払法人税等	135	854
賞与引当金	1,080	1,151
その他	11,422	11,982
流動負債合計	47,000	51,154
固定負債		
長期借入金	13,857	12,471
退職給付に係る負債	6,877	6,820
資産除去債務	180	181
その他	2,178	2,166
固定負債合計	23,095	21,638
負債合計	70,095	72,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	27,144	28,503
自己株式	△1,792	△1,793
株主資本合計	32,433	33,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,660	1,541
土地再評価差額金	894	893
為替換算調整勘定	19	△33
退職給付に係る調整累計額	△305	△268
その他の包括利益累計額合計	2,269	2,132
純資産合計	34,703	35,923
負債純資産合計	104,799	108,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	66,735	69,192
売上原価	40,136	41,334
売上総利益	26,598	27,858
販売費及び一般管理費		
販売促進費	15,033	14,915
その他	9,757	9,884
販売費及び一般管理費合計	24,791	24,800
営業利益	1,807	3,057
営業外収益		
受取利息	40	31
受取配当金	75	78
不動産賃貸料	16	18
貸倒引当金戻入額	389	—
為替差益	2	—
その他	82	107
営業外収益合計	606	235
営業外費用		
支払利息	293	290
貸倒引当金繰入額	—	2
為替差損	—	48
その他	24	19
営業外費用合計	318	360
経常利益	2,094	2,932
特別利益		
固定資産売却益	636	—
受取補償金	—	6
補助金収入	300	—
その他	0	—
特別利益合計	936	6
特別損失		
固定資産売却損	284	1
固定資産除却損	127	115
貸倒損失	—	318
ゴルフ会員権評価損	4	—
貸倒引当金繰入額	5	—
関係会社整理損	137	111
その他	94	11
特別損失合計	652	559
税金等調整前四半期純利益	2,379	2,379
法人税、住民税及び事業税	110	796
法人税等調整額	748	△4
法人税等合計	859	792
四半期純利益	1,519	1,587
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,519	1,587

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,519	1,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	△119
土地再評価差額金	1,524	—
為替換算調整勘定	△1	△53
退職給付に係る調整額	16	36
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	1,485	△136
四半期包括利益	3,005	1,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,005	1,451
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,379	2,379
減価償却費	1,491	1,522
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	51
賞与引当金の増減額(△は減少)	38	70
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△156	△5
受取利息及び受取配当金	△116	△109
支払利息	293	290
固定資産売却損益(△は益)	△351	1
固定資産除却損	97	82
ゴルフ会員権評価損	4	—
関係会社整理損	137	111
売上債権の増減額(△は増加)	△1,817	△722
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,043	△60
その他の資産の増減額(△は増加)	△654	339
仕入債務の増減額(△は減少)	273	△1,134
その他の負債の増減額(△は減少)	39	271
その他	33	△16
小計	656	3,071
利息及び配当金の受取額	116	109
利息の支払額	△304	△301
法人税等の支払額	△430	△119
営業活動によるキャッシュ・フロー	37	2,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,973	△1,541
有形固定資産の売却による収入	1,947	0
無形固定資産の取得による支出	△86	△150
投資有価証券の取得による支出	△0	△173
投資有価証券の売却による収入	50	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	0	△149
長期貸付けによる支出	△610	△200
長期貸付金の回収による収入	820	300
その他	47	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△804	△1,921
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,445	3,110
長期借入れによる収入	861	1,150
長期借入金の返済による支出	△1,586	△1,708
配当金の支払額	△237	△230
その他	△129	△138
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,352	2,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,585	2,961
現金及び現金同等物の期首残高	16,779	16,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,364	19,690

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	58,878	7,856	66,735	—	66,735
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	58,878	7,856	66,735	—	66,735
セグメント利益又は 損失(△)	2,738	△953	1,785	22	1,807

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額22百万円は、セグメント間取引消去22百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、「その他」と表示しておりました「調理済食品」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,599	9,593	69,192	—	69,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	59,599	9,593	69,192	—	69,192
セグメント利益又は 損失(△)	3,281	△245	3,035	22	3,057

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額22百万円は、セグメント間取引消去22百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	58,878	59,599	720	
スパイス&ハーブ	11,448	12,091	642	業務用香辛料、シーズニングスパイス (増加)
即席	16,417	17,049	631	即席カレー (増加)
香辛調味料	15,672	16,338	666	チューブ製品、中華製品 (増加)
インスタント食品その他	15,340	14,120	△1,220	米飯 (減少)
調理済食品	7,856	9,593	1,737	前期5月より新工場稼働 (増加)
計	66,735	69,192	2,457	